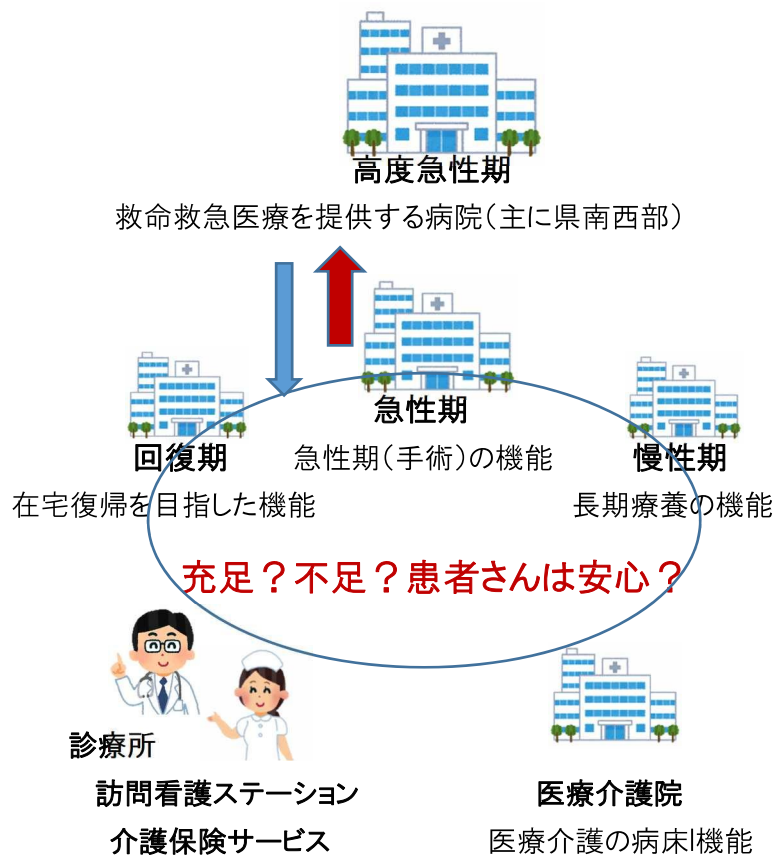


## 地域医療構想の概要

### ○地域医療構想策定の趣旨

- ・人口減少や少子高齢化が急激に進展し、医療や介護ニーズが増大する中で、限られた医療資源を最大限に有効活用していくことが求められている。
- ・患者が、身近な地域で、それぞれの状態にふさわしい良質で適切な医療を、もれなく受けられる体制の構築が求められている。
- ・二次医療圏(高梁・新見地域)において、医療機能ごとに必要量を将来推計し、地域にふさわしいバランスのとれた医療機能分化と連携を促進することを目指す。



### ○目標年次

- ・令和7(2025)年を見据えた医療機関の役割、機能について、2023年度において、各医療機関の対応方針の策定や検証・見直しを行う。

### ○地域医療構想の進め方

- ・病床削減や病院の統廃合ありきではなく、地域の実情を踏まえ「地域医療調整会議」での協議の場で合意を得ていく。
- ・将来あるべき医療提供体制の実現に向け、各医療機関の自主的な取組等を促す。
- ・住民の医療提供体制に関する理解や、適切な医療機関選択や受診が行われるよう促す。
- ・客観的で正しい医療データの収集と活用を通じて、適切な推計方法に関する取組を進める。

令和5年度高梁・新見地域医療構想調整会議のスケジュール(案)

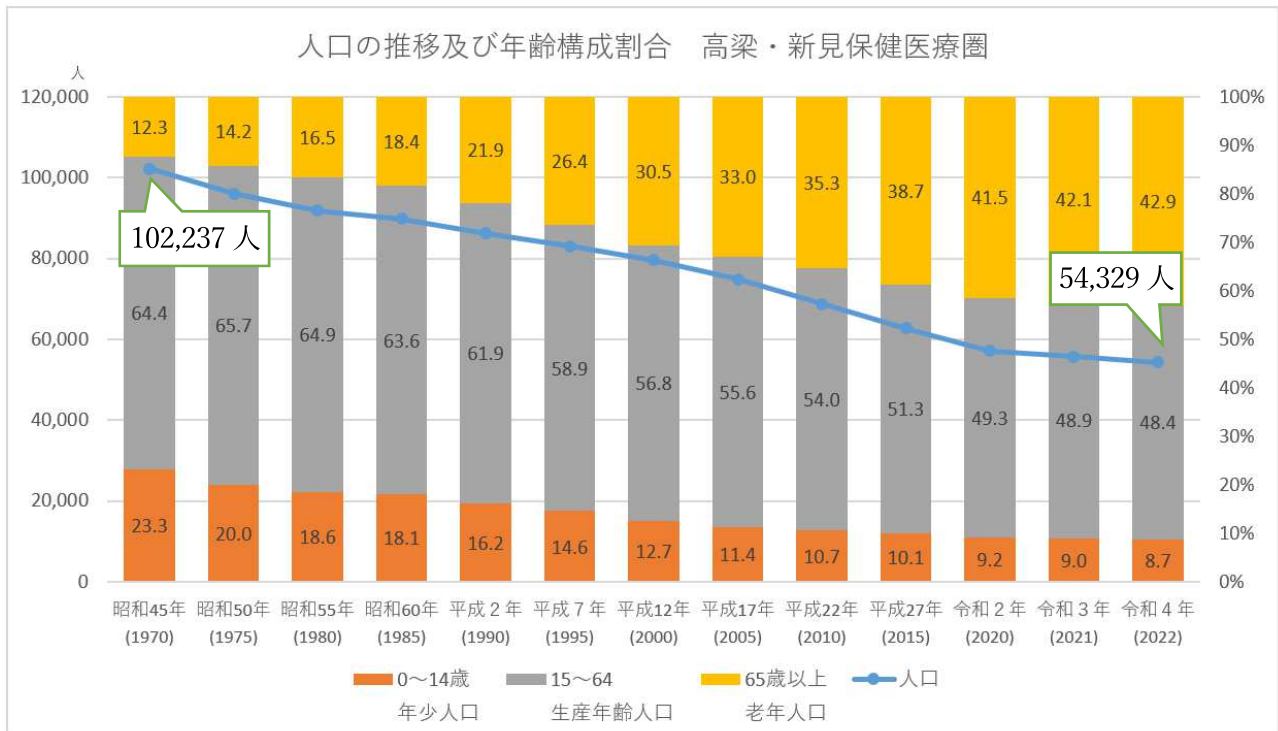
開催時期	5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		年度末までに	
	開催時期	中旬	上旬	上旬	中旬	下旬	中旬	中旬	下旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	上旬	上旬	下旬	上旬	下旬			
開催回	情報交換会	情報交換会	第1回	第1回	情報交換会	第2回	第2回	第2回	第2回	第2回	第2回	第2回	第2回	第2回	第3回	第3回	第4回	第4回	第4回	第4回	※第4回	
開催形式	WEB	対面	ハイブリッド	ハイブリッド	対面	対面	ハイブリッド	対面	ハイブリッド	ハイブリッド	対面	対面	対面	対面	ハイブリッド	ハイブリッド	書面				◎予備開催	
議事内容(想定)	○5/17 高梁・新見地域の医療機関を対象に開催 ・地域医療構想策定のプロセス ・地域医療構想に係るデータ分析 ・意見交換	○6/9 高梁市国民健康保険成羽病院経営強化プランに係る情報交換会	◎7/6 第1回高梁・新見地域医療構想調整会議 ・地域医療構想の概要とスケジュール ・医療提供体制の現状と課題の提示 ・「地域医療構想を踏まえた対応方針」の協議 ・意見交換	◎7/6 第1回高梁・新見地域医療構想調整会議 ・地域医療構想の概要とスケジュール ・「地域医療構想を踏まえた対応方針」の協議 ・意見交換	高梁・新見地域の関係医療機関等と協議	◎9/28 第2回高梁・新見地域医療構想調整会議 「地域医療構想を踏まえた対応方針」の協議 ・高梁市国民健康保険成羽病院経営強化プランの協議 ・外来医療に係る紹介受診重点医療機関の協議 ・意見交換	◎9/28 第2回高梁・新見地域医療構想調整会議 「地域医療構想を踏まえた対応方針」の協議 ・高梁市国民健康保険成羽病院経営強化プランの協議 ・外来医療に係る紹介受診重点医療機関の協議 ・意見交換	高梁・新見地域の関係医療機関等と協議 第9次保健医療計画素案に落とし込み	◎第3回高梁・新見地域医療構想調整会議(予定)	◎第3回高梁・新見地域医療構想調整会議(予定)	◎第3回高梁・新見地域医療構想調整会議(予定)	◎第3回高梁・新見地域医療構想調整会議(予定)	◎第3回高梁・新見地域医療構想調整会議(予定)	◎第3回高梁・新見地域医療構想調整会議(予定)	◎第3回高梁・新見地域医療構想調整会議(予定)	◎第3回高梁・新見地域医療構想調整会議(予定)	◎第3回高梁・新見地域医療構想調整会議(予定)	◎第3回高梁・新見地域医療構想調整会議(予定)	◎第3回高梁・新見地域医療構想調整会議(予定)	◎第3回高梁・新見地域医療構想調整会議(予定)	◎第3回高梁・新見地域医療構想調整会議(予定)	(1)民間医療機関も含めた各医療機関の策定方針の策定、検証、見直し(令和5年度末までに全ての医療機関) ※公立病院は、令和5年度までに経営強化プランを策定。 (2)外来医療に係る紹介受診重点医療機関の公表 (3)次期保健医療計画策定準備(地域課題等の整理、圏域保健医療対策協議会等の開催準備等)

※参考

開催時期	6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月			
	開催時期	下旬	第1回	第1回	第2回	第2回	第2回	第2回	第2回	第2回	第2回	第2回	第2回	第3回	第3回	第4回	第4回	第4回	第4回	第5回		
岡山県	・地域医療構想、3/24国通知、各医療機関の対応方針等協議方針 説明 ・R4病末機能報告結果、管内状況等説明 議事内容(想定) ・外来機能報告制度、紹介受診重点医療機関協議 説明	・地域医療構想、3/24国通知、各医療機関の対応方針等協議方針 説明 ・R4病末機能報告結果、管内状況等説明 議事内容(想定) ・外来機能報告制度、紹介受診重点医療機関協議 説明	・公的等医療機関の対応方針協議 ・補助金(R5給付金、R6施設整備)要望医療機関の対応方針協議 ・外来機能報告関係 次回協議概要説明	・対応方針の提出のあった医療機関の対応方針協議 ・補助金(R5給付金、R6施設整備)要望医療機関の対応方針協議 ・外来機能報告関係 次回協議概要説明	・対応方針の提出のあった医療機関の対応方針協議 ・補助金(R5給付金、R6施設整備)要望医療機関の対応方針協議 ・外来機能報告関係 次回協議概要説明	・対応方針の提出のあった医療機関の対応方針協議 ・補助金(R5給付金、R6施設整備)要望医療機関の対応方針協議 ・外来機能報告関係 次回協議概要説明	・対応方針の提出のあった医療機関の対応方針協議 ・補助金(R5給付金、R6施設整備)要望医療機関の対応方針協議 ・外来機能報告関係 次回協議概要説明	・対応方針の提出のあった医療機関の対応方針協議 ・補助金(R5給付金、R6施設整備)要望医療機関の対応方針協議 ・外来機能報告関係 次回協議概要説明	・対応方針の提出のあった医療機関の対応方針協議 ・補助金(R5給付金、R6施設整備)要望医療機関の対応方針協議 ・外来機能報告関係 次回協議概要説明	・対応方針の提出のあった医療機関の対応方針協議 ・補助金(R5給付金、R6施設整備)要望医療機関の対応方針協議 ・外来機能報告関係 次回協議概要説明	・対応方針の提出のあった医療機関の対応方針協議 ・補助金(R5給付金、R6施設整備)要望医療機関の対応方針協議 ・外来機能報告関係 次回協議概要説明	・対応方針の提出のあった医療機関の対応方針協議 ・補助金(R5給付金、R6施設整備)要望医療機関の対応方針協議 ・外来機能報告関係 次回協議概要説明	・対応方針の提出のあった医療機関の対応方針協議 ・補助金(R5給付金、R6施設整備)要望医療機関の対応方針協議 ・外来機能報告関係 次回協議概要説明	・対応方針の提出のあった医療機関の対応方針協議 ・補助金(R5給付金、R6施設整備)要望医療機関の対応方針協議 ・外来機能報告関係 次回協議概要説明	・対応方針の提出のあった医療機関の対応方針協議 ・補助金(R5給付金、R6施設整備)要望医療機関の対応方針協議 ・外来機能報告関係 次回協議概要説明	・対応方針の提出のあった医療機関の対応方針協議 ・補助金(R5給付金、R6施設整備)要望医療機関の対応方針協議 ・外来機能報告関係 次回協議概要説明	・対応方針の提出のあった医療機関の対応方針協議 ・補助金(R5給付金、R6施設整備)要望医療機関の対応方針協議 ・外来機能報告関係 次回協議概要説明	・対応方針の提出のあった医療機関の対応方針協議 ・補助金(R5給付金、R6施設整備)要望医療機関の対応方針協議 ・外来機能報告関係 次回協議概要説明	・対応方針の提出のあった医療機関の対応方針協議 ・補助金(R5給付金、R6施設整備)要望医療機関の対応方針協議 ・外来機能報告関係 次回協議概要説明	・対応方針の提出のあった医療機関の対応方針協議 ・補助金(R5給付金、R6施設整備)要望医療機関の対応方針協議 ・外来機能報告関係 次回協議概要説明	・対応方針の提出のあった医療機関の対応方針協議 ・補助金(R5給付金、R6施設整備)要望医療機関の対応方針協議 ・外来機能報告関係 次回協議概要説明	・対応方針の提出のあった医療機関の対応方針協議 ・補助金(R5給付金、R6施設整備)要望医療機関の対応方針協議 ・外来機能報告関係 次回協議概要説明

## 1 人口及び人口動態（高梁・新見保健医療圏）

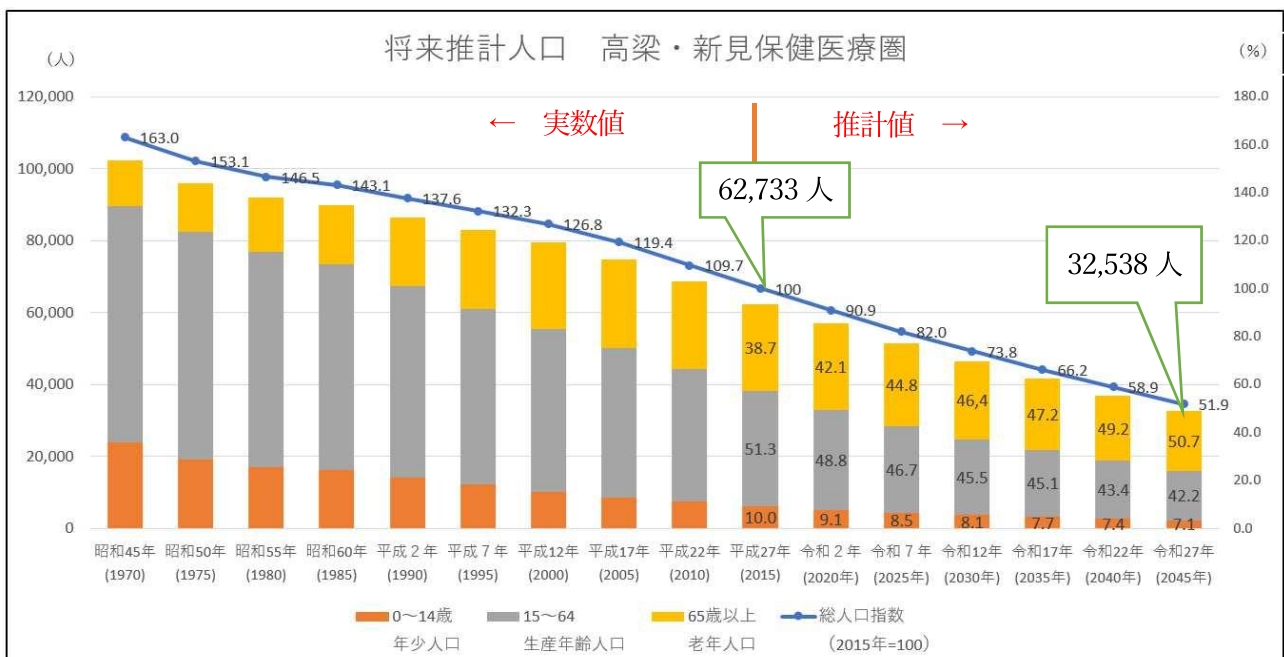
### (1) 人口の推移及び年齢構成



資料：総務省統計局「国勢調査」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」

- 昭和45(1970)年に102,237人であった圏域の人口は、令和4(2022)年は54,329人と減少しています。
- 年齢構成割合は令和4(2022)年に65歳以上が42.9%を占め、14歳以下の人口が8.7%と減少しています。

### (2) ア 将来人口推計

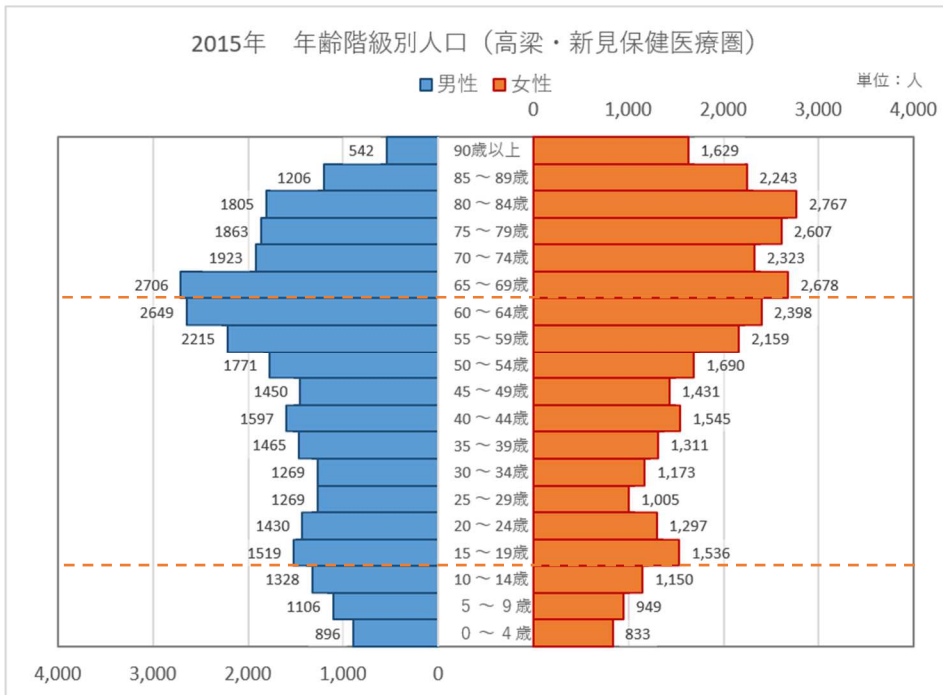


資料：総務省統計局「国勢調査」

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別推計人口」（平成30年(2018)年推計）

- 年齢構成割合は令和27(2045)年には65歳以上が50%を超え、更に高齢化が進む推計です。

(2)イ 人口ピラミッド  
年齢階級別人口(2015年)

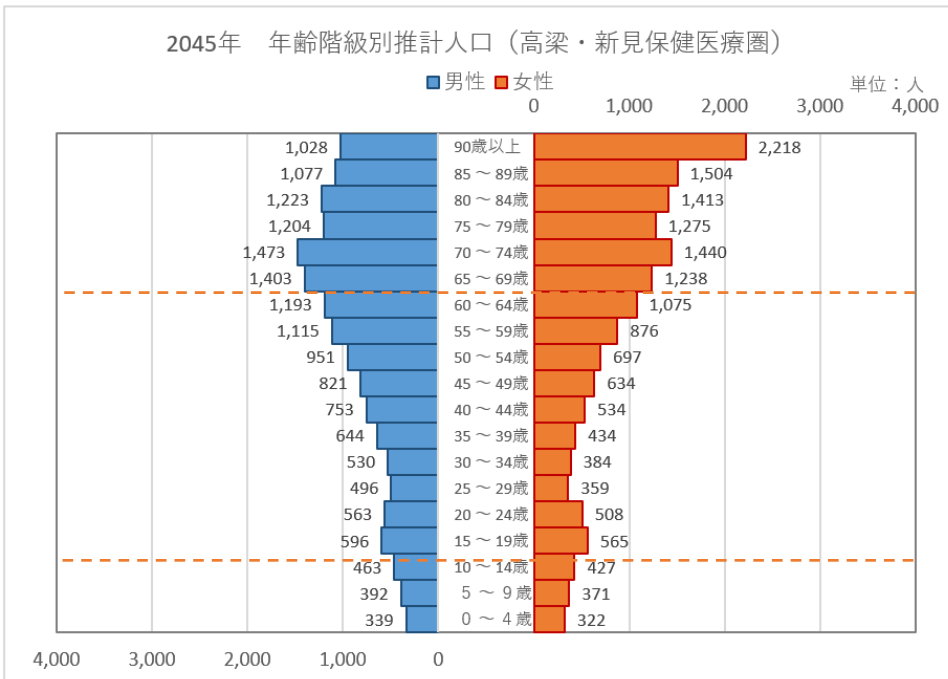


年齢区分	人口総数	比率
総数	62,733	
90歳以上	2,171	3.5
85～89歳	3,449	5.5
80～84歳	4,572	7.3
75～79歳	4,470	7.1
70～74歳	4,246	6.8
65～69歳	5,384	8.6
60～64歳	5,047	8.0
55～59歳	4,374	7.0
50～54歳	3,461	5.5
45～49歳	2,881	4.6
40～44歳	3,142	5.0
35～39歳	2,776	4.4
30～34歳	2,442	3.9
25～29歳	2,274	3.6
20～24歳	2,727	4.3
15～19歳	3,055	4.9
10～14歳	2,478	4.0
5～9歳	2,055	3.3
0～4歳	1,729	2.8

資料：総務省統計局「国勢調査」



年齢階級別推計人口 (2045年)

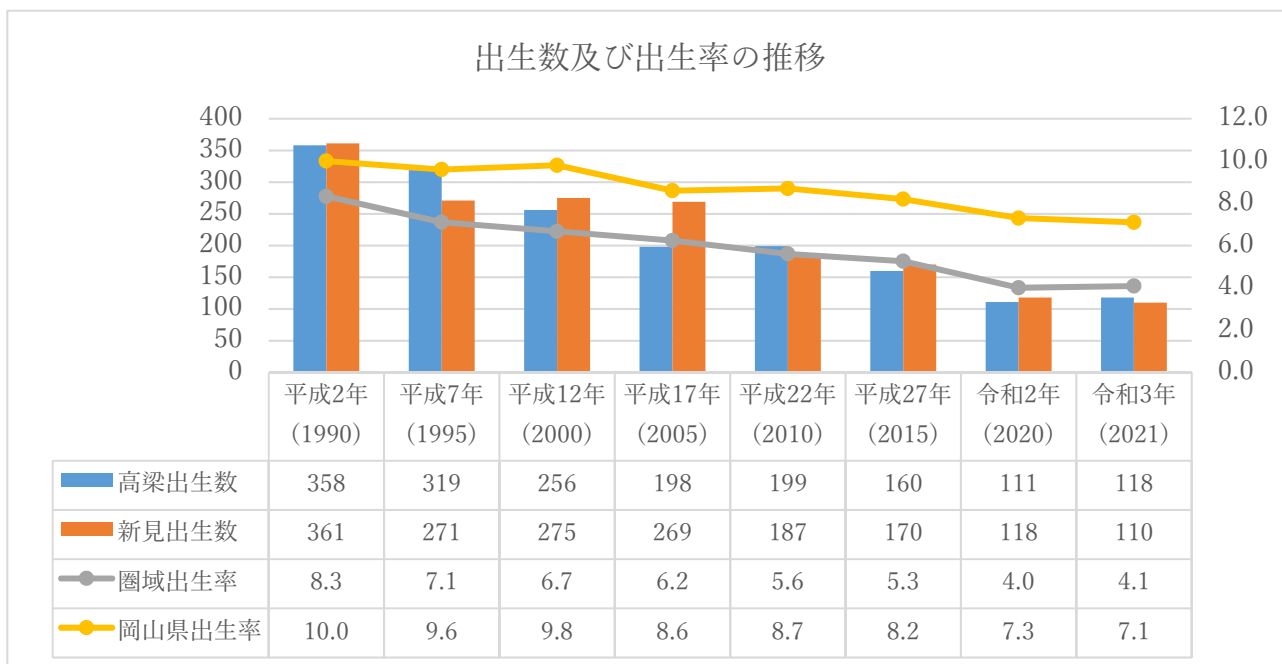


年齢	総数	率
総数	32,538	
90歳以上	3,246	10.0
85～89歳	2,581	7.9
80～84歳	2,636	8.1
75～79歳	2,479	7.6
70～74歳	2,913	9.0
65～69歳	2,641	8.1
60～64歳	2,268	7.0
55～59歳	1,991	6.1
50～54歳	1,648	5.1
45～49歳	1,455	4.5
40～44歳	1,287	4.0
35～39歳	1,078	3.3
30～34歳	914	2.8
25～29歳	855	2.6
20～24歳	1,071	3.3
15～19歳	1,161	3.6
10～14歳	890	2.7
5～9歳	763	2.3
0～4歳	661	2.0

資料：国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成30（2018）年推計）

### (3)人口動態

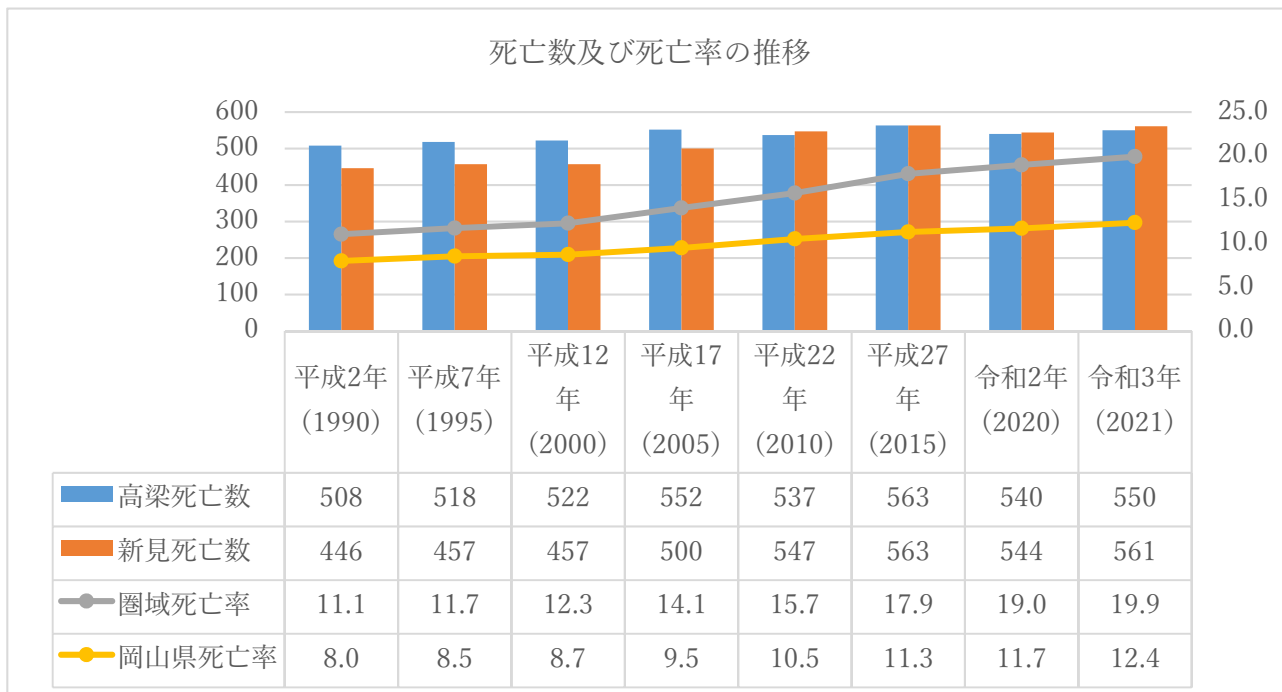
#### ア 高梁市・新見市出生数の推移及び高梁新見医療圏域と岡山県の出生率の推移



資料：厚生労働省「人口動態統計」

○令和3年の圏域出生数は228人、出生率は人口千対4.1(県7.1)で平成2年から4.2ポイント減少。

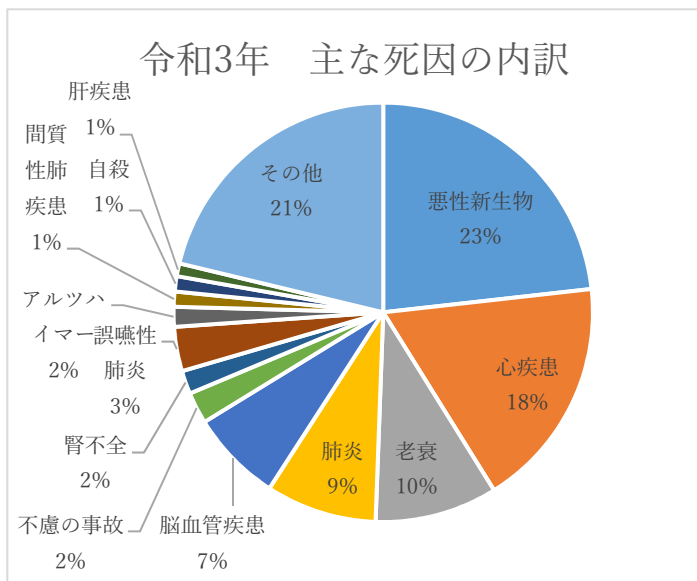
#### イ 高梁市・新見市死亡数の推移及び高梁新見医療圏域と岡山県の死亡率の推移



資料：厚生労働省「人口動態統計」

○令和3年の死亡数は1121人、死亡率人口千対19.9(県12.4)で増加傾向です。令和3年は883人の人口自然減少がありました。

ウ 高梁・新見保健医療圏域 主な死因の内訳(令和3年 死亡総数1,111人)

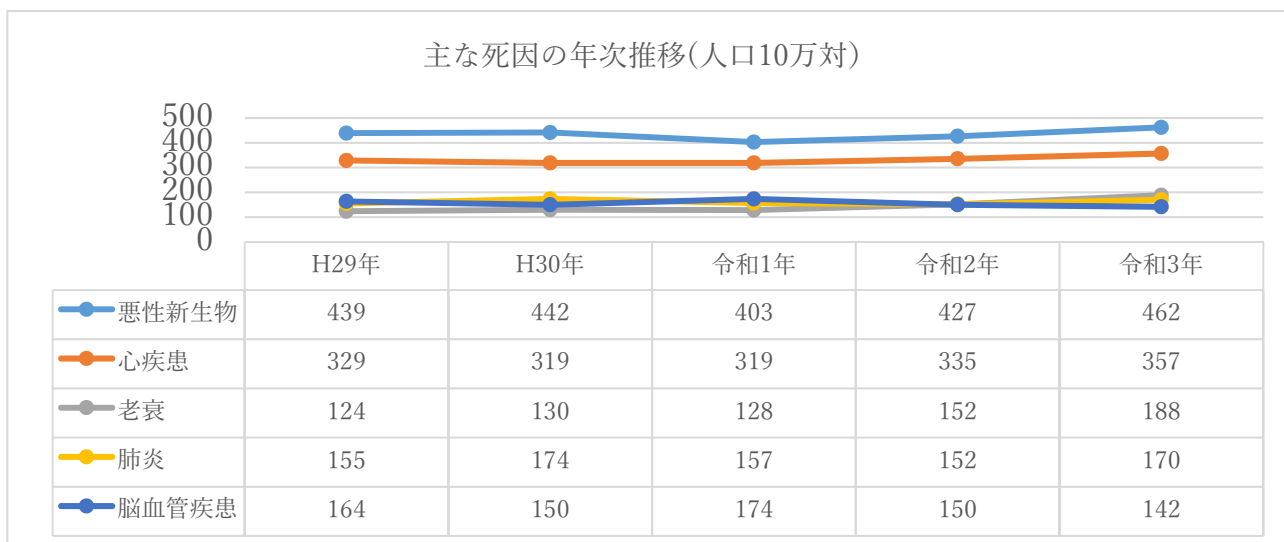


令和3年死因の内訳は、死亡総数1111人に対し、悪性新生物が23%(人口10万対462)で最も多く、心疾患が18%(人口10万対357)で2番目に多い。また、肺炎9%(人口10万対170)、脳血管疾患7%(人口10万対142)の順になくなる割合が高い状況です。

平均寿命はR2年男性では、県81.9歳、高梁市・新見市とも88.6歳です。女性では県88.3歳、高梁市88.4歳、新見市88.5歳で県と同じ傾向です。

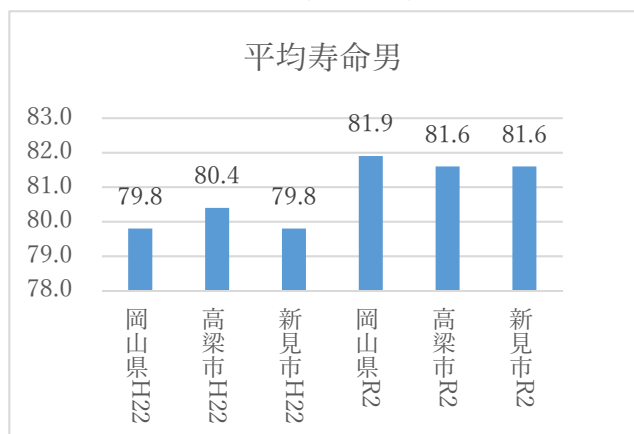
資料：厚生労働省「人口動態統計」、県医療推進課「衛生統計年報」

エ 高梁・新見保健医療圏域 主な死因の年次推移(人口10万対)



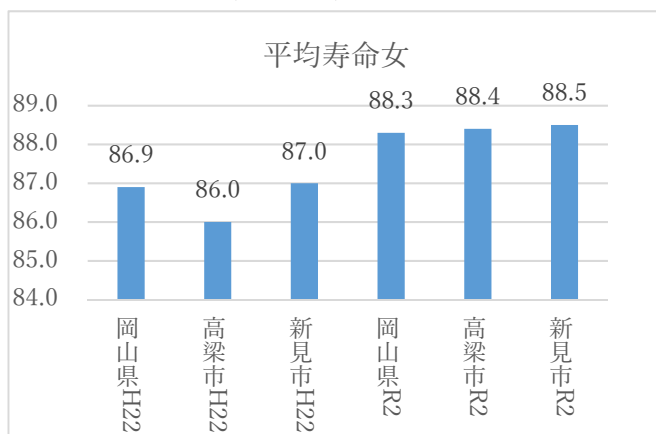
資料：厚生労働省「人口動態統計」、県医療推進課「衛生統計年報」

オ 男性平均寿命 (H22/R3)



資料：厚生労働省「生命表」

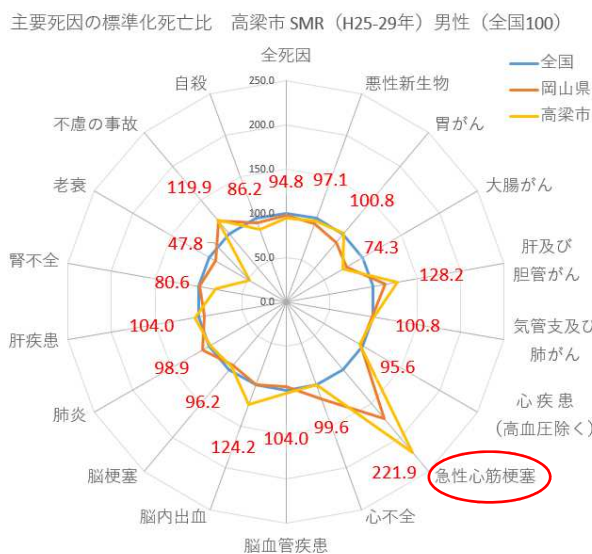
女性平均寿命 (H22/R3)



資料：厚生労働省「生命表」

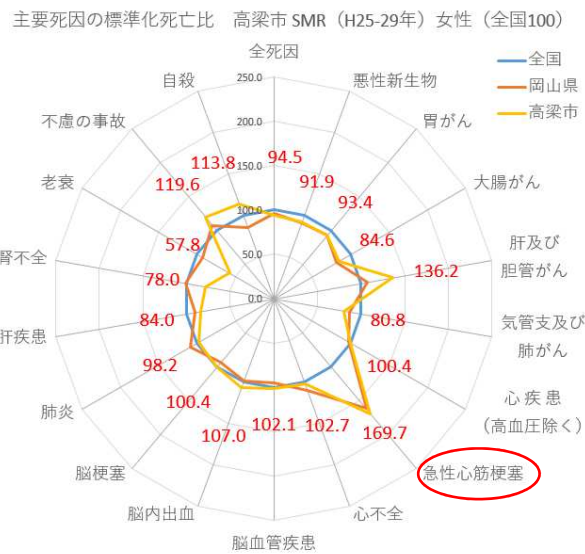
カ 標準化死亡比 (SMR:人口構成の違いによる死亡率を補正：全国を 100 とする)

疾患ごとの SMR 高梁市 男性



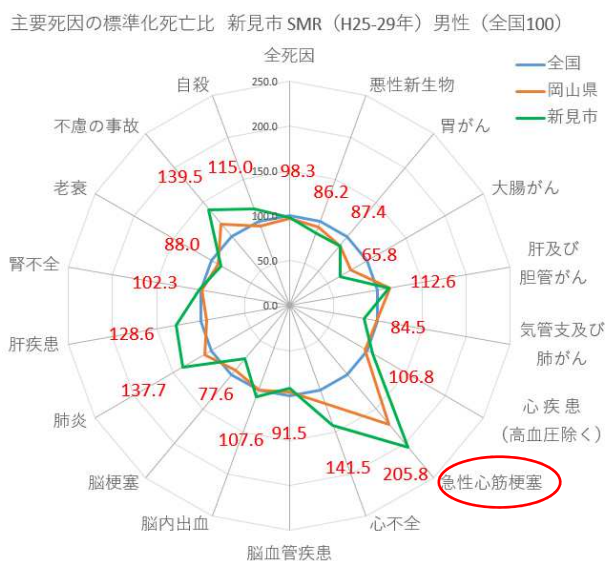
資料 厚生労働省「人口動態統計特殊報告 (平成25-29年)」

高梁市 女性



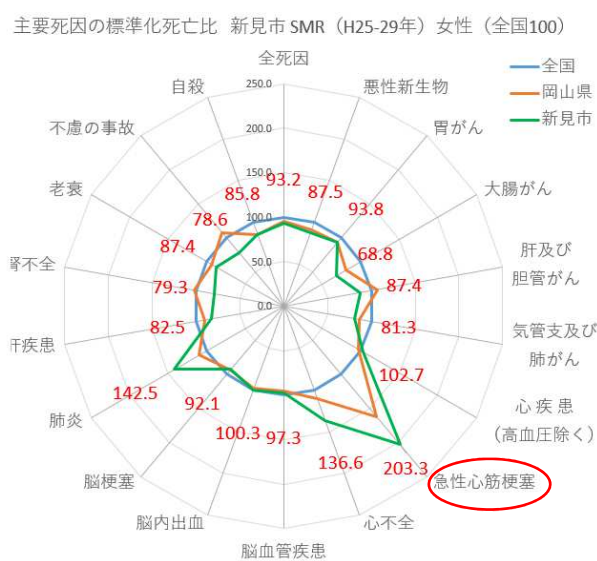
資料 厚生労働省「人口動態統計特殊報告 (平成25-29年)」

疾患ごとの SMR 新見市 男性



資料 厚生労働省「人口動態統計特殊報告 (平成25-29年)」

新見市 女性

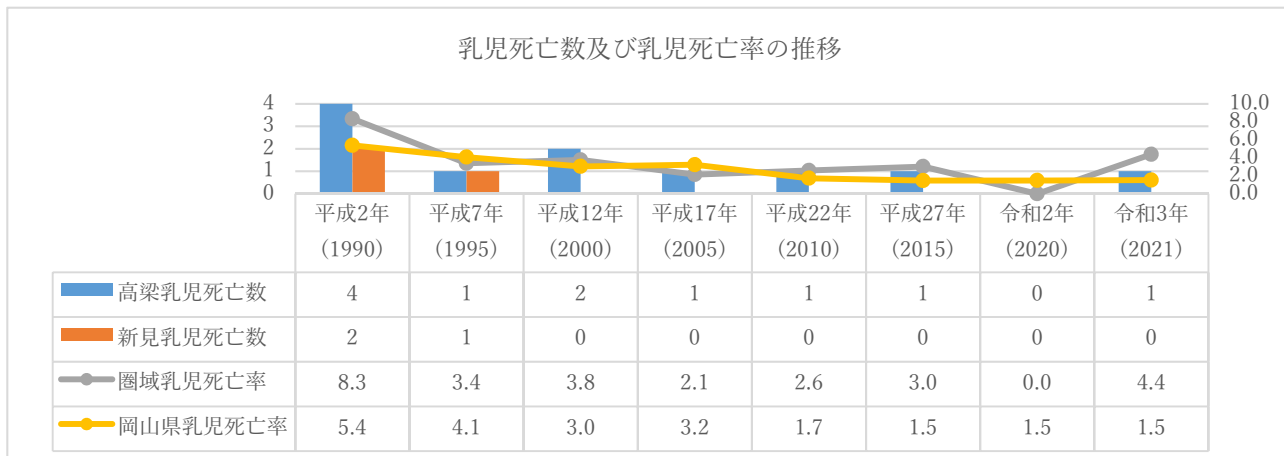


資料 厚生労働省「人口動態統計特殊報告 (平成25-29年)」

資料：厚生労働省「H25~H29年人口動態統計特殊報告」

○平成 25 年～29 年の SMR では、国を 100 とした場合、高梁市男 221.9、女 205.7、新見市男 169.7、女 203.3 といずれも急性心筋梗塞が高い傾向にあります。

キ 乳児死亡の推移

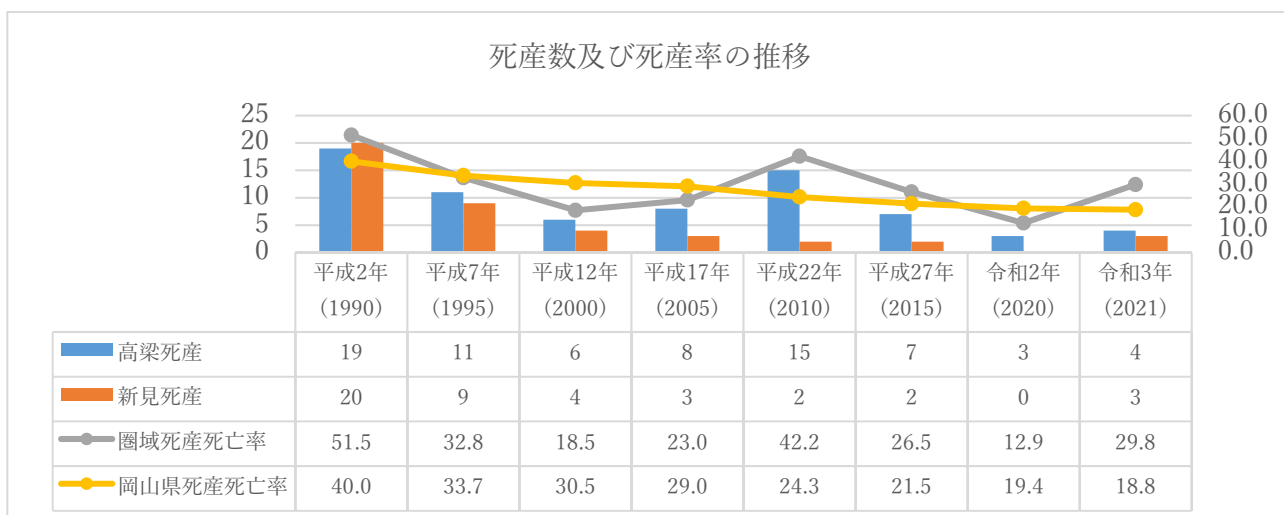


資料 厚生労働省「人口動態統計」

○乳児死亡R3年は1人です。近年は1~0人を推移しています。

ク 死産数及び死産率の推移

(単位：死産数は胎、死産率は出生千対)



資料 厚生労働省「人口動態統計」

○死産数が平成2年に比べ減少傾向で、令和3年は7胎、死産率は29.8(出生千対)です。なお、7胎のうち人工死産は5胎(高梁2・新見3)です。

ケ 周産期死亡数及び周産期死亡率の推移

(単位：人、周産期死亡率(出生千対))

	平成2年 (1990)	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)
高梁周産期死亡	3	4	1	0	2	1	0	1
新見周産期死亡	4	1	0	0	2	0	0	0
圏域周産期死亡率	9.7	8.5	1.9	0.0	10.3	3.0	0.0	4.4
岡山県周産期死亡率	5.3	5.8	4.0	4.2	3.5	3.5	2.4	2.9

資料 厚生労働省「人口動態統計」

○周産期死亡(妊娠満22週以降の死産と早期新生児死亡(生後1週未満の死亡)) 令和3年は1人で周産期死亡率は4.4(県2.9)です。出生数の減少により周産期死亡率は高めになります。



## 2 保健医療資源の状況

### (1) 保健医療資源

#### ア 施設数

資料：備北保健所診療所等開設届

	高梁市	新見市	合計
病院	4(精神科1)	4	8
(再掲) 在宅療養支援病院	1	1	2
診療所	21	19	40
(再掲) へき地診療所	8	11(1カ所休診中)	19
(再掲) 眼科・耳鼻科・皮膚科	2	3	5
(再掲) 有床診療所	2(1カ所は休止)	2	4
(再掲) 在宅療養支援診療所	4	2	6
歯科	14	10	24
(再掲) 在宅療養支援歯科診療所	4	4	8
休日夜間診療所		1	1
薬局	11	10	21
(再掲) 保険調剤薬局	11	10	21
(再掲) 在宅患者訪問薬剤師同届出薬局			
訪問看護ステーション	5	3	8
地域包括支援センター	1センター3支所 委託2	1センター	2センター(3支所・ 委託2)

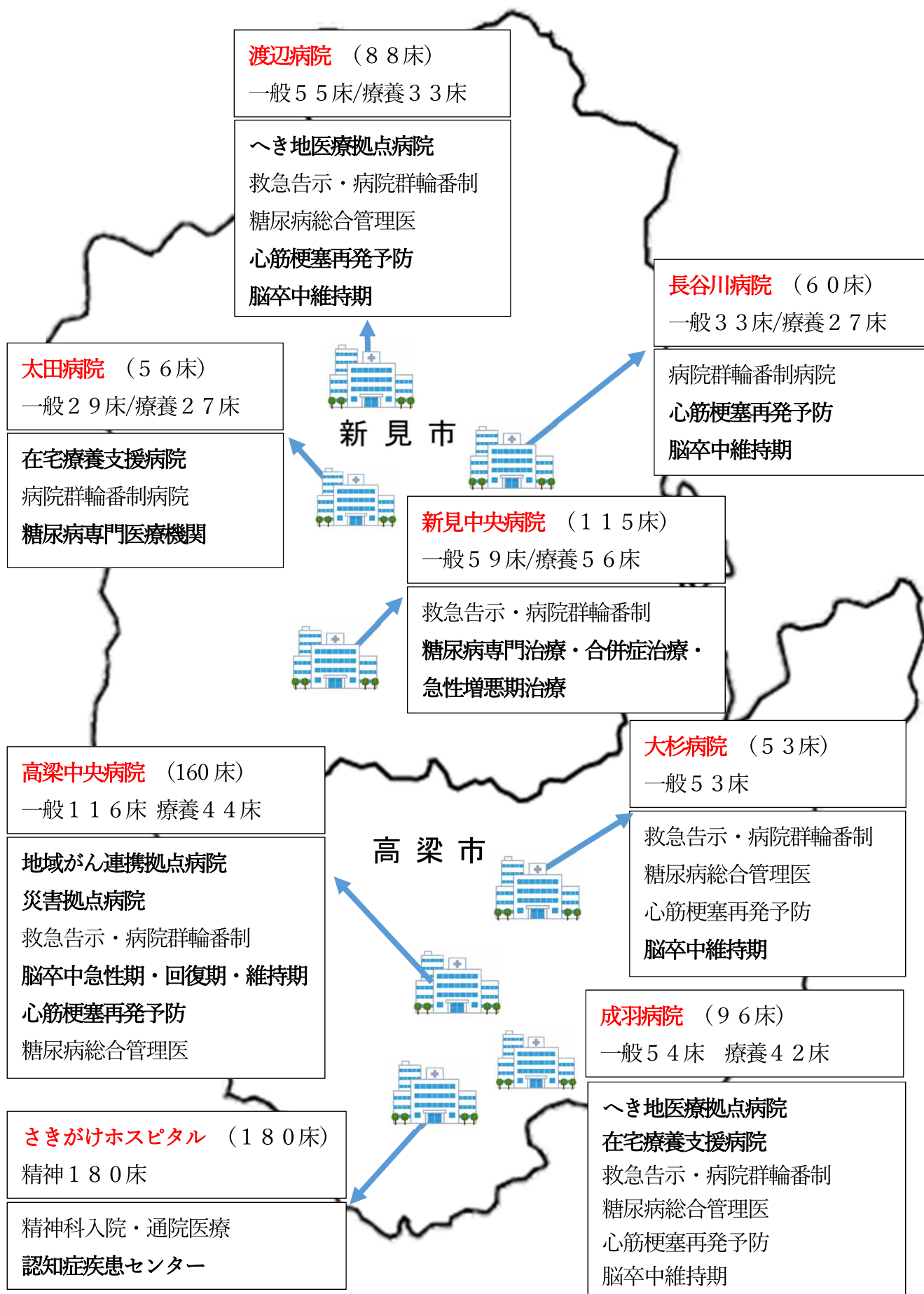
※診療所は施設内診療所を除く

#### イ 医療機関診療科目

	計	病院	診療所
総数	69	8	61
内科	62	7	55
呼吸器内科	3	2	1
循環器内科	6	5	1
消化器内科	4	2	2
腎臓内科	1	1	-
脳神経内科	2	1	1
糖尿病内科	4	4	-
血液内科	2	2	-
皮膚科	6	4	2
リウマチ科	4	2	2
小児科	15	2	13
精神科	5	2	3
心療内科	3	2	1
外科	15	6	9

	計	病院	診療所
呼吸器外科	1	1	-
乳腺外科	2	2	-
消化器外科(胃腸外科)	2	2	-
泌尿器科	3	3	-
肛門外科	1	1	-
脳神経外科	4	3	1
整形外科	7	5	2
形成外科	2	2	-
眼科	6	3	3
耳鼻いんこう科	5	3	2
産婦人科	2	-	2
婦人科	3	2	1
リハビリテーション科	8	5	3
放射線科	7	5	2
麻酔科	1	1	-
歯科	3	1	2
矯正歯科	1	-	1

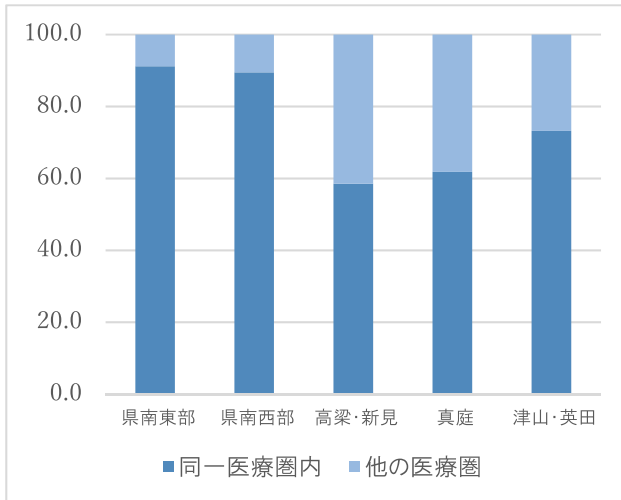
ウ 高梁・新見圏域病院状況



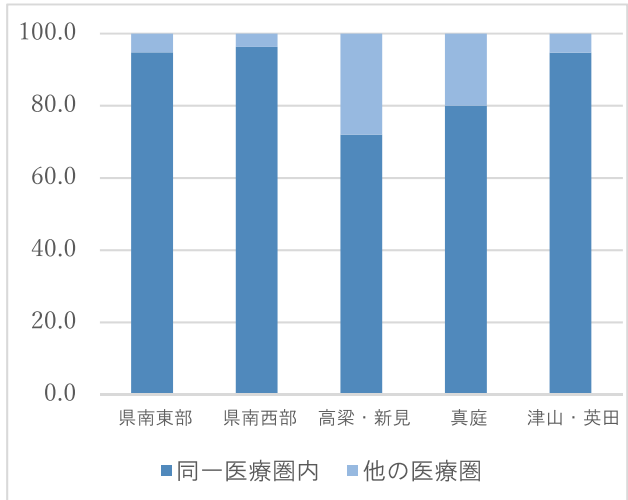
(2) 入院患者の受療動向

ア 令和元（2019）年入院患者の受療状況

一般病床



療養病床



資料：令和2年患者調査

○県内の医療機関（一般病床・療養病床）に入院している患者を住所地別に、同一の保健医療圏で受療しているか、他の保健医療圏で受療しているかを示した割合について、令和元（2019）年では、当圏域内での受療が一般病床では58.5%、療養病床では72.0%です。特に一般病床では患者の41.5%が他の圏域に流出しています。

イ 2025年区域別機能別1日あたりの医療需要の流出入の人数推計

区分		県南東部	県南西部	高梁新見	真庭	津山英田	合計
高度急性期	流入			11.1			11.1
	流出	12.2	25.5	11.1			48.8
急性期	流入			86.1			86.1
	流出	24.3	57.6	86.1	10.9		168.0
回復期	流入			108.7			108.7
	流出	19.8	56.4	108.7			195.9
慢性期特例	流入	23.1		148.4			171.5
	流出	30.8	21.5	148.4			200.6

資料：厚生労働省「地域医療構想策定ツール」による推計（第8次岡山県医療計画より）

※慢性特例：慢性期病床の減少率が全国中央値よりも大きくかつ、高齢者単身世帯の割合が全国平均よりも大きい県域は、2030年から比例的に逆算した入院受療率とすることができる。（高梁・新見医療圏域該当）

○1日あたりの医療需要流出入人数推計によれば、回復期、慢性期は高梁新見県域内で100人を超える需要が推計されている。

(3) 病床利用率・平均在院日数

圏域の令和元（2019）年の病床利用率は、82.3%で、岡山県の76.2%と比べて6.1ポイント高くなっています。また、平均在院日数は、岡山県の26.2日に比べて約18日長くなっています。

令和元（2019）年 病床利用率及び平均在院日数の状況

区分	病床利用率（%）			平均在院日数（日）		
	総数			総数		
	一般病床	療養病床		一般病床	療養病床	
圏域	82.3	83.4	71.7	43.9	19.9	96.9
岡山県	76.2	72.9	86.4	26.2	17.9	117.5

令和3（2021）年 病床利用率及び平均在院日数の状況

区分	病床利用率（%）			平均在院日数（日）		
	総数			総数		
	一般病床	療養病床		一般病床	療養病床	
圏域	81.2	82.9	67.9	43.9	22.3	92.8
岡山県	72.6	84.3	68.9	27.1	17.7	114.3

資料：厚生労働省「令和3（2021）年 病院報告

(4) 圏域の許可病床数の現況と必要病床数推計の比較

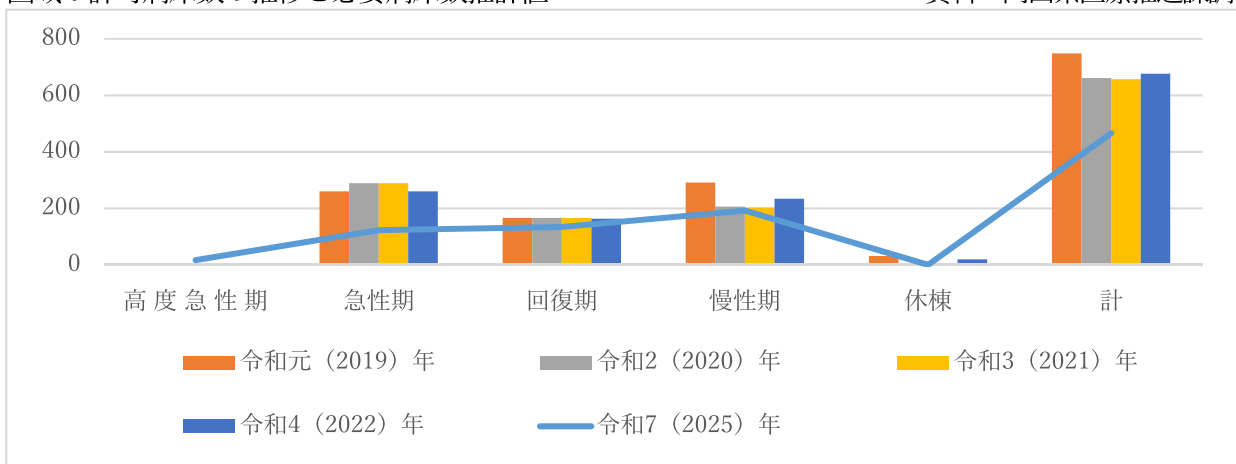
(単位：床)

区分	令和4（2022）年7月1日現在の病床 [病床機能報告]			必要病床数 [地域医療構想策定支援ツールから]			R7に対する必要数 ②-①	R7に対する充足率 ①/②	R22に対する必要数 ③-①	R22に対する充足率 ①/③
	病院	診療所	合計 ①	H25(2013)	R7(2025) ②	R22(2040) ③				
高度急性期	0	0	0	18	17	15	17	—	15	—
急性期	231	29	260	130	123	113	▲ 137	211.4%	▲ 147	230.1%
回復期	163	0	163	143	134	122	▲ 29	121.6%	▲ 41	133.6%
慢性期	234	0	234	279	192	178	▲ 42	121.9%	▲ 56	131.5%
休棟	0	19	19				▲ 19		▲ 19	
計	628	48	676	570	466	428	▲ 210	145.1%	▲ 248	157.9%

資料：岡山県医療推進課調

圏域の許可病床数の推移と必要病床数推計値

資料：岡山県医療推進課調



令和4（2022）年7月1日現在の許可病床数と県において推計した令和7（2025）年の医療機能別必要病床数は、図のとおりです。当圏域では高度急性期の病床はなく、全て県南医療圏等に流出していると考えられます。また、令和7(2025)年の必要病床数に比べ急性期の病床数が多い現状が続いています。

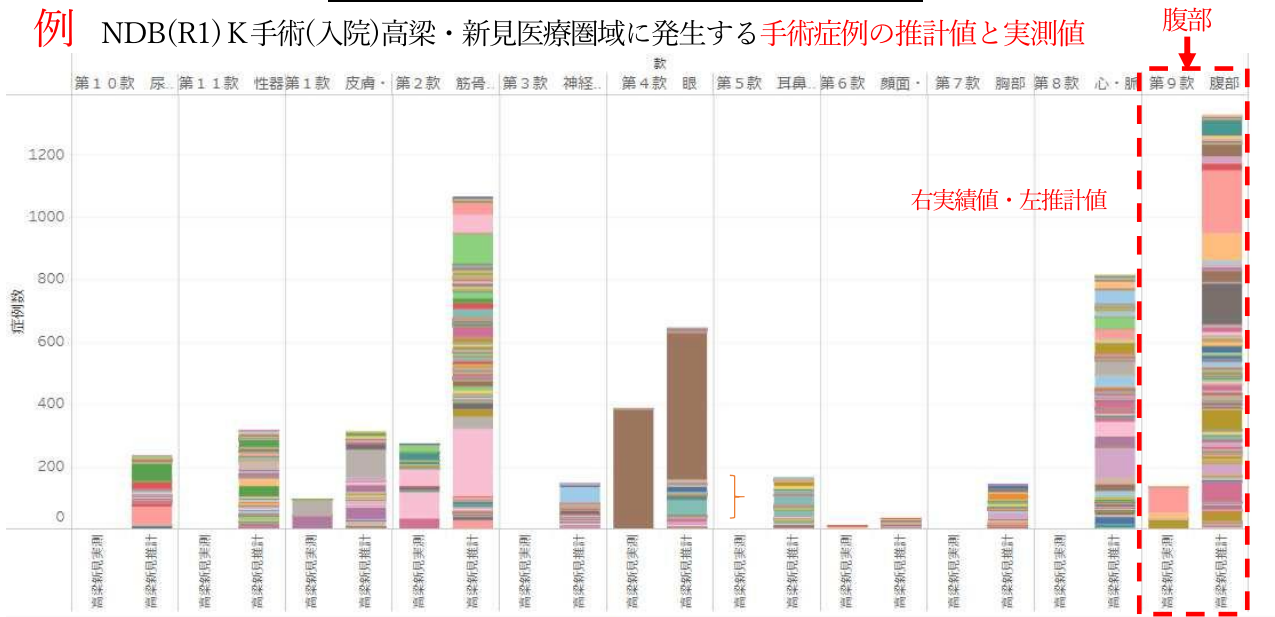
※病床機能報告は病棟単位での報告となるため、急性期に地域包括ケア病床が含まれている場合もあります。

急性期機能：急性期の患者に対して病状の早期安定に向けて医療を提供  
 回復期機能：急性期を経過し、在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する  
 慢性期機能：長期にわたり両表が必要な患者を入院する機能

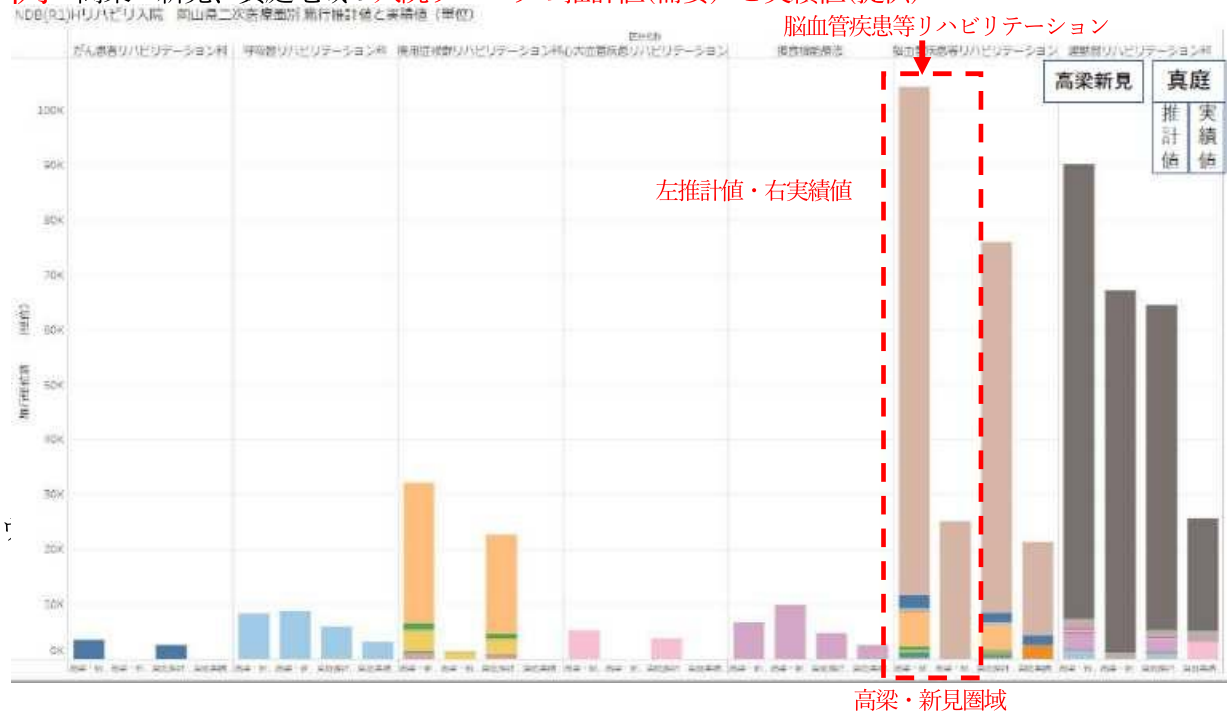
(5) 医療需要と供給

資料は、宮原所長から当日提供させていただきます

例 NDB(R1) K手術(入院)高梁・新見医療圏域に発生する手術症例の推計値と実測値

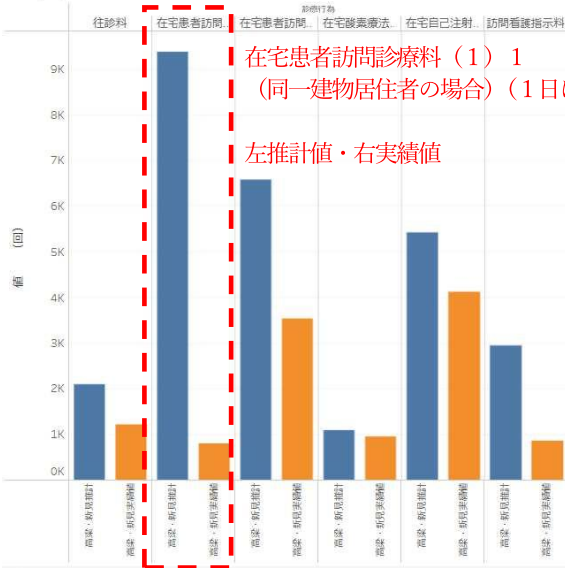


例 高梁・新見、真庭地域の入院リハビリの推計値(需要)と実績値(提供)

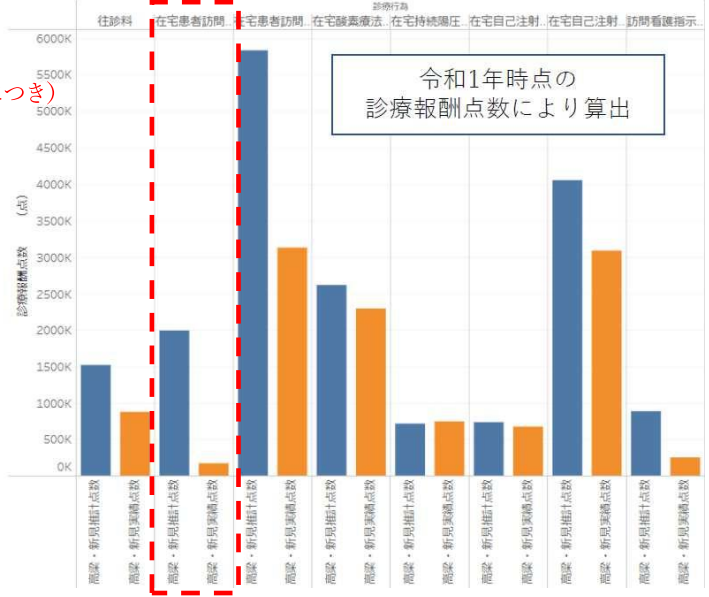


# 例 高梁・新見地区の在宅医療における医療需要と供給：診療回数(左図)と市場規模(右図)

NDB(R1)C在宅医療 高梁・新見地区 推計値と実績値



NDB(R1)C在宅診療 高梁・新見 推計点数、実績点数



### 3 医療従事者の状況

#### (1) 医師・歯科医師・薬剤師数(登録者数)

H26年及びR2年12月31日現在

区分	医師		歯科医師		薬剤師	
	人数	人口10万対	人数	人口10万対	人数	人口10万対
圏域 H26	99	152.7	37	57.1	105	162.0
圏域 R2	101	178.2	35	61.8	99	174.7
県 H26	5,760	299.4	1,715	89.1	3,937	204.6
県 R2	5,210	276.9	1,807	96.0	4,281	227.6

資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」(H26年・R2年)

#### (2) 保健師、助産師、看護師、准看護師数

H26年・R2年12月31日現在

区分	保健師		助産師		看護師		准看護師	
	人数	人口10万対	人数	人口10万対	人数	人口10万対	人数	人口10万対
圏域 H26	69	111.6	10	16.2	574	928.5	264	427
圏域 R2	77	135.4	11	19.3	619	1,088.2	216	379.8
県 H26	974	50.9	517	27.0	22,563	1,178.0	4,828	252.1
県 R2	1,969	56.8	553	29.4	24,240	1,287.7	4,151	220.5

資料：看護職員業務従事者届、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」

#### (3) その他の医療従事者(コメディカル)

	理学療法士	作業療法士	管理栄養士	診療放射線技師	配置医療機関数	言語聴覚士	臨床検査技師	歯科衛生士
常勤(人)	47	28	21	19	5	7	2	
非常勤(人)	4	3	1	3				

資料：厚生労働省「病床機能報告」(R4年)及び備北保健所調

#### (4) 医師

##### ア 就労場所

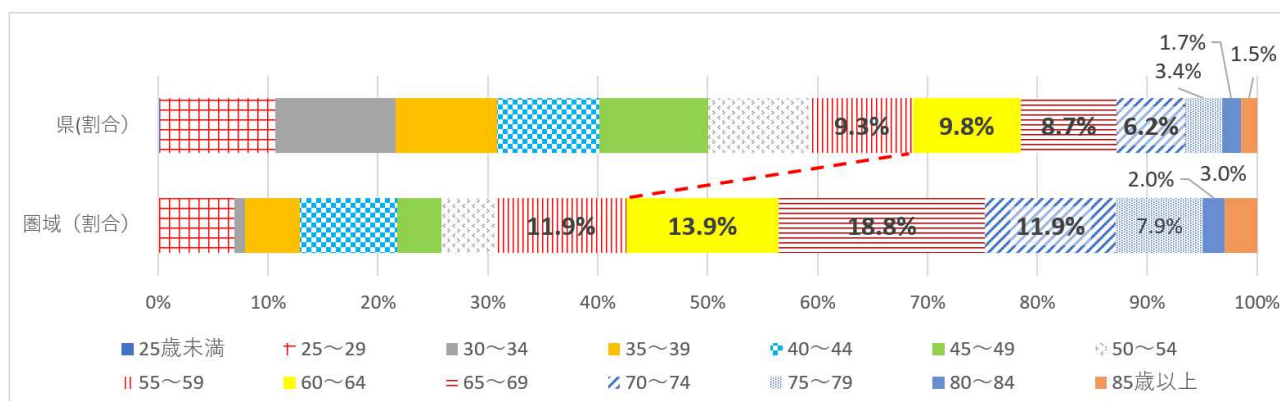
H26年・R2年12月31日現在

	病院	診療所	介護老人保健施設	教育機関	行政機関	その他	合計
圏域 H26(人)	49	39	2	8	1	0	99
圏域 H26(%)	49.5%	39.4%	2.0%	8.1%	1.0%	0.0%	100.0%
圏域 R2(人)	54	31	5	10	1	0	101
圏域 R2(%)	53.5%	30.7%	5.0%	9.9%	1.0%	0.0%	100.0%
県 R2(%)	68.6%	27.5%	1.1%	1.6%	0.7%	0.5%	100.0%

資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」(H26年・R2年)

イ 年齢構成割合

R2年 12月31日現在



資料 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」(R2年)

○R2年の圏域の医師数は101人で、人口10万対で比較すると、圏域は、県276.9人の64.4%に当たる178.2人でした。地域枠医師や自治医師の配置による就業もありますが、依然として医師不足は続いています。

○就業場所は病院がやや増加、診療所は減っており、医師の年齢構成は、60歳以上が57.4%を占め(県31.4%)、医師の高齢化が進んでいます。

(5) 歯科医師  
就労場所

H26年・R2年 12月31日現在

	病院	診療所	介護老人 保健施設	教育機関	行政機関	その他	合計
圏域 H26(人)	2	22	0	0	0	0	24
圏域 H26(%)	8.3%	91.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
圏域 R2(人)	1	33	0	0	0	1	35
圏域 R2(%)	2.9%	94.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	100.0%
県 R2(%)	17.2%	80.4%	0.0%	1.2%	0.3%	0.9%	100.0%

資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」(H26・R2年)

○R2年の圏域の歯科医師数は35人で、人口10万対で比較すると、圏域は、県96.0人の64.3%に当たる61.8人でした。勤務場所は、診療所が94.3%で、医科歯科連携や高齢化に伴う在宅歯科診療の役割が期待されています。



(6)薬剤師

就労場所

H26年・R2年 12月31日現在

	病院	薬局の 開設者	薬局の 勤務者	教育 機関	行政 機関	企業 の従 事者	老人 保健 施設	その 他	合計
圏域 H26(人)	23	9	60	3	4	4	0	2	105
圏域 H26(%)	21.9%	6.7%	54.3%	2.9%	3.8%	3.8%	0.0%	1.9%	100.0%
圏域 R2(人)	23	7	57	2	3	3	1	3	99
圏域 R2(%)	23.2%	7.1%	57.6%	2.0%	3.0%	3.0%	1.0%	3.0%	100.0%
県 R2(%)	25.2%	5.6%	53.4%	2.3%	1.9%	6.8%	0.4%	4.5%	100.0%

資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」(H26・R2年)

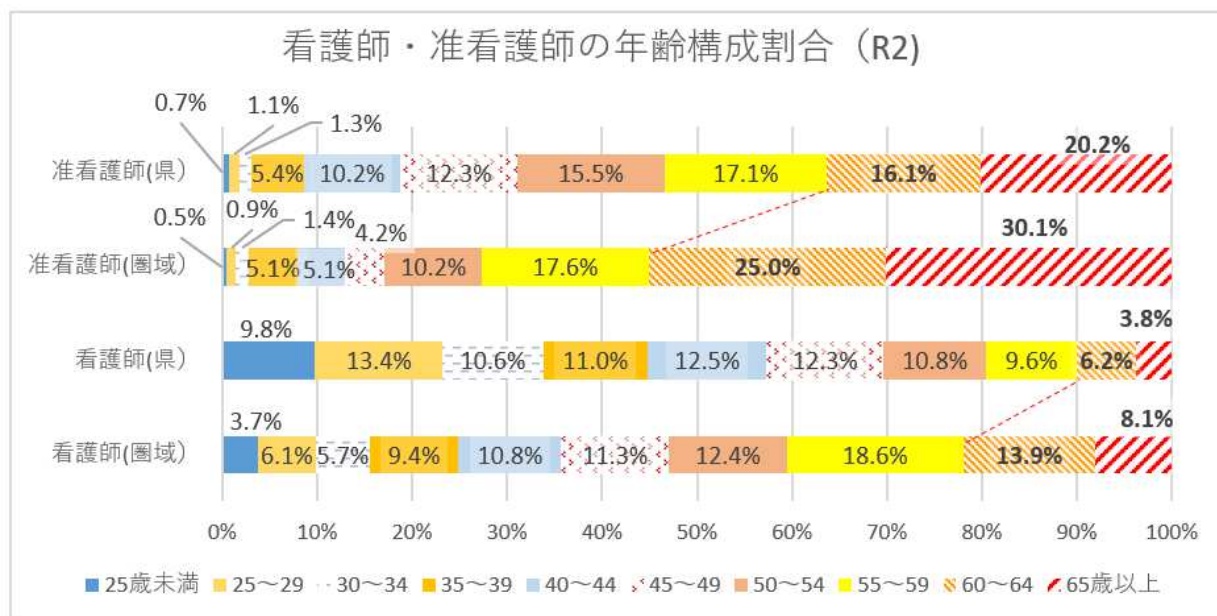
○R2年の圏域の薬剤師数は99人で、人口10万対と比較すると、圏域は、県227.6人の76.7%に当たる174.7人でした。そのうち病院勤務が23人(23.2%)、薬局の開設又は勤務が64人(64.7%)います。

新型コロナウイルス感染症を通じ、訪問薬剤指導等対応薬局が増えました。高齢化に伴い、在宅医療の推進の中で、訪問薬剤指導等薬剤師の役割は期待されています。

(7)看護師・准看護師

年齢構成割合

R2年 12月31日現在



資料：看護職員業務従事者届、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」(2年)

○R2年の圏域の看護師数は619人・人口10万対1,088.2人、准看護師数は216人・人口10万対379.8人で、看護師は増加しましたが、准看護師が減少し、人数としては維持されている状態です。

○看護師及び准看護師の年齢構成割合をみると、60歳以上の割合は、看護師22.0%(岡山県10.0%)、准看護師55.1%(岡山県36.3%)で、看護職の高齢化、人材不足が今後の大きな課題です。